

第5回国際交流委員会資料

令和7年8月2日(土)～7日(木)高大連携台湾研修 真理大学訪問レポート

令和7年8月4日に、太田先生とチェン職員が台湾の提携校である真理大学を訪問し、本学の学生も同行しました。本訪問は、真理大学との交流をさらに深めることを目的として行われ、現地での文化体験や学術交流の機会を提供するものです。

訪問概要

8月4日に到着後、真理大学の担当教員および職員の皆様に温かく出迎えられました。滞在期間中、真理大学のキャンパスツアーが行われ、各学部の教室や施設の紹介を受けました。また、真理大学の学生と交流する機会も設けられ、学生たちは台湾文化や日常生活について学ぶとともに、日本との共通点や違いについて意見交換を行いました。

主な活動内容

1. 講義参加

真理大学の講義に参加し、台湾の教育スタイルやカリキュラムについて学びました。学生たちは、現地の学生とのディスカッションに積極的に参加し、学びを深めました。

2. 文化体験

台湾の伝統文化を体験するためのワークショップが開催され、茶道、書道、料理など、台湾独自の文化に触れる機会がありました。学生たちは、実際に台湾料理を作りながら、食文化の違いや歴史について理解を深めました。

3. 観光と歴史学習

学生たちは、現地の観光地を訪れ、台湾の歴史や文化について学びました。特に、台北市内の故宮博物院などを見学し、台湾の歴史的背景について理解を深めました。

訪問の成果

今回の訪問は、学生にとって非常に貴重な経験となり、異文化理解を深める大きな機会となりました。また、真理大学との交流を通じて、将来の国際協力や共同研究への可能性が広がりました。訪問後も双方の学生が連絡を取り合い、今後の交流がさらに発展することが期待されます。

この訪問により、学生たちは異なる文化や学習環境に触れることができ、国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。今後もこのような交流を継続し、学生の国際理解を深める取り組みを進めていきたいと考えています。